

鶴岡工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	機械工学概論	
科目基礎情報							
科目番号	68554			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	創造工学科（電気・電子コース）			対象学年	5		
開設期	後期			週時間数	1		
教科書/教材	機械工学総論、日本機械学会						
担当教員	佐々木 裕之						
到達目標							
機械を専門としない学生を対象として、機械工学の導入部から必修科目までの基礎的な知見を広く得ること目的にする。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	機械工学に係る基礎的な知識を理解し、簡単な問題を8割以上の正解を求めることができる。			機械工学に係る基礎的な知識を理解し、簡単な問題を6割以上の正解を求めることができる		左記に達しない	
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	機械工学の導入部から必修科目までの基礎的な知見を広く得ることを目的にする。						
授業の進め方・方法	座学を行う。教科書の豊富な実例を解説する。講義ごとに自学自習のための課題を課す						
注意点							
事前・事後学習、オフィスアワー							
授業計画							
後期		週	授業内容		週ごとの到達目標		
	3rdQ	1週	機械と機械工学		機械工学の基礎体系について説明することができる。		
		2週	現在の機械および機械システム。エネルギー、自動車		エネルギー、自動車、について説明することができる。		
		3週	現在の機械および機械システム。ロボット		ロボットについて説明することができる。		
		4週	現在の機械および機械システム。情報機器、医療福祉		情報機器、医療福祉について説明することができる。		
		5週	機械工学の基礎体系。4つの力学		4つの力学を理解し、簡単な計算をすることができる。		
		6週	機械工学の基礎体系。材料加工、制御、情報		材料加工、制御、情報について理解し、説明することができる。		
		7週	機械工学の基礎体系。バイオエンジニアリング、計算力学		バイオエンジニアリング、計算力学について理解し、説明することができる。		
		8週	試験		講義の内容を理解し、正しい解答を作成できる。		
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
16週							
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	90	0	0	10	0	0	100
基礎的能力	90	0	0	10	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0